

以下の理由により、市内全域において減便（または路線の廃止等）をいたします。

①運転手不足

運転手の退職（高齢化、定年退職等）、若手求職者の減少により、現在の運行規模を維持できないため。

②改善基準告示の改正

労働時間が規制され、現行と同様に「早朝、夜」の便を運行するには、複数名での対応が必要となるが、補充する運転手が不足しており、やむを得ず始発や終発便の減便が必要であるため。

③運行経費(市運行補助)の削減

燃料や人件費の高騰、車両の老朽化等により運行経費が年々高騰している。そのため、利用の少ない便を廃止または予約したときのみ運行するなど、運行の効率化を図る。

④労働環境の是正

今後は、高齢化や運転免許返納などでますます公共交通へのニーズは高まっていくことが想定される。そのため、労働環境を改善し、運転手を確保する観点からも労働拘束時間だけでなく、実運転時間の是正も図る。

減便対象について

※便あたり利用者数・・・当該便の1運行あたりの平均利用者数（令和5年4月から12月までの間）

お客様への影響をできる限り少なくするため、以下の①～④を基本として、運転手不足、法改正等に対応するため減便します。

- ①便あたり利用者数が著しく少ない便（概ね1名以下）
- ②朝夜を運行する便のうち、便あたり利用者数が概ね5名以下の便
- ③通勤通学時間帯以外で、運行本数が多く、他便で代替が可能な場合（概ね2時間間隔で代替できる便がある等）
- ④他路線で代替（乗継が必要な場合や予約運行へ移行する場合も含む）が可能な場合

【減便の状況】

前年度対比コミバス便数・・・（現行）386便 - （変更）306便 ▲80便 = 減便総数95便 - 増便数15便

（参考） 減便数のうち、予約運行に移行する便が29便、朝夜の始発地点まで回送する便が17便（利用者ほぼ0人）、重複統合する便が6便あります。

便あたり利用者数	削減便数	主な路線
5人程度	5便	土山本線、八田線
3～4人程度	5便	土山本線、広域水口線等
1～2人程度	15便	希望ヶ丘水口線、三雲駅市役所線等
0.1～1人程度	50便	希望ヶ丘水口線、南草津土山線、信楽・甲賀地域路線等
0.1人未満	20便	希望ヶ丘水口線、信楽・甲賀地域路線等

廃止・減便となる路線等

※平均利用者人数・・・減便対象便の1運行あたりの平均利用者数（令和5年4月から12月までの間）

前頁の「減便対象」に基づき、運転手不足、法改正等に対応するため減便（または廃止）します。

①廃止する路線

地域	路線名		概要
水口	A5	貴生川甲賀病院線	利用が少なく、路線の大部分が他路線と重複しているため廃止（平均利用人数2名/便） ※廃止によりコミバス運行が無くなるバス停については、「みなくちデマンド」エリアに編入
	A6	柏木巡回線	利用者が少ないため廃止（平均利用人数0.6名/便） ※コミタクエリア(運行時間8:00～18:59)としては継続
	A7	貴生川巡回線	利用者が少ないため廃止（平均利用人数1名/便） ※コミタクエリア(運行時間8:00～18:59)としては継続

②減便する主な路線

地域	路線名	減便数	概要
水口	A1	1	復路貴生川発16時台を1本減便（平均利用人数5名/便）
	A2	1	・復路貴生川発16時台を1本減便（平均利用人数2名/便） ・運行ルートの一部短縮・見直し、終発時刻の繰上げ・繰上げによる時刻調整、工業団地経由便を「A4三雲駅市役所線」に移行
	A3	1	・往路始発便を減便（平均利用人数2名/便） ※復路始発便は「A1八田線」に統合
	A4	7	始発・終発を含む朝夕および日中の利用が少ない便を7本減便（平均利用人数2名/便）
土山	B1	4	・始発往復2便、夜2便の4本減便（平均利用人数4名/便） ・終発時刻の繰上げ（上下便）
		4	・朝夕の上下便各1本の計4本を減便（平均利用人数1名/便） ・運行日、運行区間の見直し
	B2	2	利用の少ない時間帯2本を減便（減便対象の平均利用人数0.7名/便）
	B3	4	朝の1往復以外の4本を減便（減便対象の平均利用人数1名/便）

地域	路線名		減便数	概要
土山	B4	大河原線	2	利用の少ない時間帯を運行する2本を減便（減便対象の平均利用人数0.5名/便）
	B5	甲南線	1	利用の少ない時間帯を運行する1本を減便（減便対象の平均利用人数0.1名/便）
	B7	山内巡回線	1	運行区間の一部が他便と重複する1本を減便（減便対象の利用人数2名/便）
甲賀	C1	大原線	9	通学で利用する時間帯以外の9本を減便（減便対象の平均利用人数0.4名/便） ※一部の便は、予約運行へ移行
	C2	佐山線	1	利用の少ない時間帯を運行する便の運行区間を見直し、1本減便（減便対象の平均利用人数1名/便）
	C3	油日線	7	通学で利用する時間帯以外の7本を減便（減便対象の平均利用人数0.4名/便） ※一部の便は、予約運行へ移行
	C4	甲賀駅甲賀病院直通便	2	利用が少ないため、他路線へ統合（減便対象の平均利用人数0.4名/便）
広域	G1	広域水口線	2	運転手の不足により2本減便（減便対象の平均利用人数2名/便）
甲南	E1	希望ヶ丘水口線	13	利用が少ない13本を減便（利用がほぼ0人の始発バス停への回送便5本を含む：減便対象の平均利用人数0.7名/便）※始発・終発含む
	E2	環状線	1	車両および運転手の運用の都合により、運行ルート・ダイヤを変更し、利用が少ない便を減便する（減便対象の平均利用人数0.6名/便）
	E3	寺庄甲南甲賀病院直通便	2	車両および運転手の運用の都合により、運行ルート・ダイヤを一部変更し、広域水口線へ統合（減便対象の平均利用人数3名/便）
信楽	F1	朝宮線	3	終発を2便、始発バス停へ回送する便1本（ほぼ利用なし）を含む3本を減便（減便対象の平均利用人数0.9名/便）
	F2	多羅尾線	8	通学で利用する時間帯以外の8本を減便（減便対象の平均利用人数0.5名/便） ※一部の便は、予約運行へ移行
	F3	田代畑陶芸の森巡回線	6	通学で利用する時間帯以外の6本を減便（減便対象の平均利用人数0.9名/便） ※一部の便は、予約運行へ移行

③廃止（または移設する）するバス停

車両運用、運行時間の短縮、歩行者・利用者の安全確保のため、利用状況に応じてバス停を廃止・移設します。

地域	路線名		概要
水口	A1	八田線	「東春日」 → 移設し、名称を「南春日」に変更 「水口台南口」 → 移設
	A2	広野台線	「宇川東」・「西内貴」・「宇田」・「宇田公民館」 → ルート変更により廃止 ※新しくコミタクエリアに編入
	共通		「水口医療センター」 → 「みなくち診療所」に名称変更し、旧診療所前のバス停は休止 ※薬局付近のバス停のみ継続
甲南	共通		「寺庄公民館」・「中学校前」・「稲荷前」・「新橋」・「深川市場」・「深川」 → ルート変更により廃止 ※コミタクエリアバス停としては継続